

## 雲仙での暮らし：天国づくしにちよっぴり「地獄」

「地獄」に囲まれた生活は楽あれば苦あり。この地で暮らす人々は、その恩恵とも不便とも上手に向き合う術を身に付けています。温泉地帯の至るところに複雑に張り巡らされた配管がありますが、この配管はホテルや公衆浴場用の水を引くためだけでなく、宿泊施設に送る山の湧き水を温め、これを自然の暖房システムを通して循環させるためにも使われています。また温泉水は、甘すぎずサクサクしておいしい地元の煎餅、湯せんべいの生地を作るのにも使われています。地上から沸き立つ蒸気で調理された温泉卵もまた、人気のおやつとなっています。一方で、硫黄を含有する大気は、人体への害は無くとも強い腐食性があります。住民はコンクリートの腐食、車の変色、蛇口等の金属パーツの錆や、圧倒的に短い電化製品の寿命などの付き合い方を学びます。地元の人々は、この天国のような土地には「地獄」の顔もあり、その暮らしには代償が伴うことを思い知らされます。